

(伊)デロンギ社製

ご使用の前に、必ずお読みください。

取扱説明書

アイロニング システム

Mod. Pro 90



このたびは、「デロンギ アイロニングシステムPro 90」をお求めいただきまして、誠にありがとうございました。
製品を正しく安全にご使用いただくために、ご使用の前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。また、お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

もくじ

安全上の注意　ご使用の前に、必ずお読みください。

1.ご使用の前に、必ずこの「安全上の注意」を最後までお読みください。
2.ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3.注意事項は、誤った取扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」と「注意」の二つに分け、明示しています。

 警告　この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 注意　この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

4.各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示が付いています。

 ：発火注意　 ：感電注意　 ：高温注意　 ：禁止行為

 ：分解禁止　 ：強制／指示　 ：プラグをコンセントから抜く

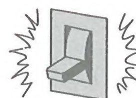
電源について

 警告
・電源は、「15A 125V」と記されている壁面のコンセントから直接とってください。



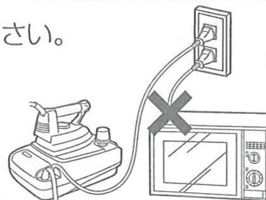


 注意
・電源は、一般家庭用100V／50・60Hzをご使用ください。
・使用中にブレーカー(分電盤内の配線遮断器)が落ちる場合は、お近くの電力会社にご相談ください。



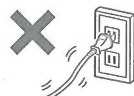

コンセントについて

 警告
・コンセントは、本製品だけ（単独）で使用してください。また、差込み口が二つあるコンセントの場合は、片方の差込み口を空のままでご使用ください。
・延長コードやタップ、ソケット等は、使用しないでください。タコ足配線も、絶対にお止めください。



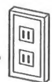


 注意
・差込み口のゆるいコンセントは、使用しないでください。




プラグについて

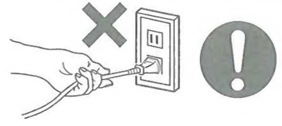
 警告
・濡れた手で、プラグの抜き差しをしないでください。


プラグについて



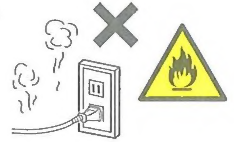
- プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
- プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。



電源コードについて

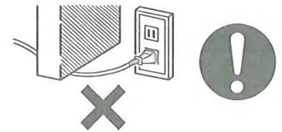


- 破損した電源コード／プラグは、絶対に使用しないでください。
- 使用中、電源コード／プラグが異常に熱くなる場合は、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏面参照）までご相談ください。





- 電源コード／プラグは、無理に曲げたり、物をのせたり、傷を付けないように、大切に扱ってください。
- 使用中は、電源コードがアイロン本体に触れないようにしてください。



使用上の注意：使用場所について



- 本体は、乾いた場所で保管してください。
- 耐熱性のある平らな場所でご使用ください。
- 水のかかるところ（洗面所や風呂場）や火気の近くでは使用しないでください。
- ボイラーに水を入れた状態で、0℃以下の場所で保管しないでください。

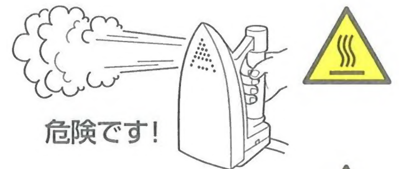




使用上の注意：高温ヤケド注意



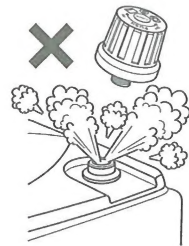
- アイロンのスチーム孔から出るスチームは高温ですので、ヤケドにご注意ください。
- 危険ですので、絶対にスチームを人に向けないでください。



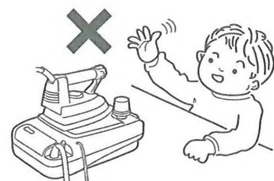


- アイロンかけ面は大変高温になりますので、ヤケドにご注意ください。
- アイロンかけ面およびボイラーは使用中および使用後しばらくは熱いので、触れないでください。
- アイロン使用中およびボイラーに圧力が残っている間（ボイラーが熱い間）は、危険ですので、ボイラーキャップを決して開けないでください。
- ボイラーキャップを開ける際は必ずプラグがコンセントから抜かれた状態であることを確認してください。
- プラグがコンセントにつながっている間は、決してその場を離れないでください。
- 子供達だけで使わせたり、小さな子供の手の届く場所で使用しないでください。











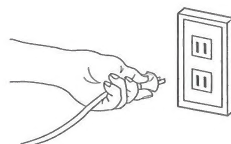
使用上の注意：ボイラーについて

⚠注意

・ボイラーキャップを開閉するときは、
下に押しながら同時に右/左に回してください。



・ボイラーに水を入れるときは、必ずじょうごを使用
してください。じょうごは手で支えて使用してください。
・ボイラー内の水を1週間以上使わないときは
捨ててください。
・使用中は、ボイラーを動かさないでください。
・使用中、ボイラーに水を補充する場合は、
一度スイッチを切り、必ずプラグをコンセント
から抜いてください。



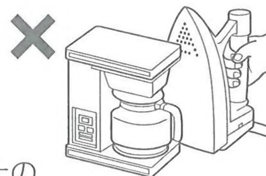
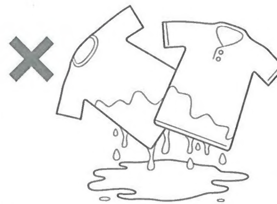
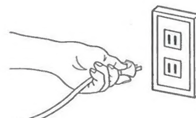




使用上の注意

⚠注意

・アイロンかけ面が他の電気製品に接触しない
ようにしてください。
・アイロン台はスチームがぬけやすいものを
ご使用ください。
・アイロンを使用しないときは、必ずボイラー上の
アイロン置場に置いてください。
・かなり濡れている状態の素材にアイロンを
かけることはお止めください。
・しみ取り剤等と一緒に使用することは絶対に
避けてください。
・他製品の部品や付属品等を組み合わせて使用
しないでください。故障や事故の原因になります。
・使用していないときは、必ずプラグを
コンセントから抜いてください。

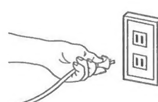





お手入れについて

⚠警告

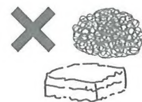
・お手入れをする前に、必ずプラグをコンセントから
抜き、本体や各部が冷えてから、行なってください。
・ご自分で分解したり、修理/改造をしないでください。





⚠注意

・本体および電源コード／プラグは、
水に浸けたり、水洗いしないでください。
・アイロンかけ面は常にきれいな状態を
保ってください。お手入れするときは、
表面を固く絞った濡れ布巾で拭いてください。
石灰質除去剤は絶対に使用しないでください。
・洗剤・シンナーやアルコール・ワイヤーウールや
研磨スポンジ・金だわし等は決して
使用しないでください。変色したり傷がつきます。

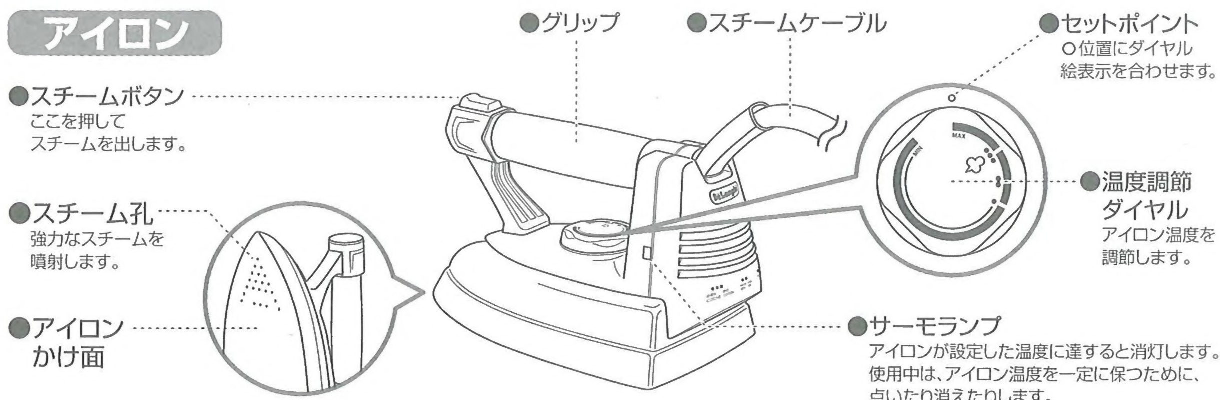




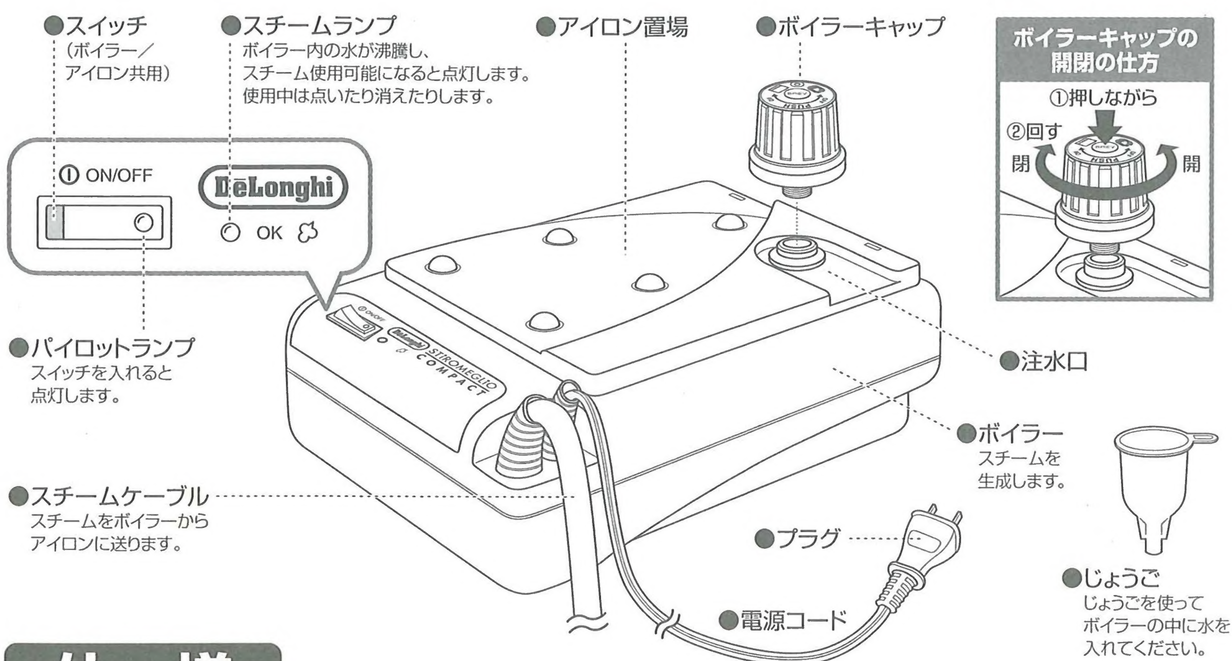


各部の名称とはたらき

アイロン



ボイラー



仕　様

製品名称／型式番号	アイロニングシステム／Pro90
電圧／周波数	AC - 100V／50・60Hz
消費電力	1000W
外形寸法（アイロン）	幅110×奥行240×高さ140mm
外形寸法（ボイラー）	幅190×奥行320×高さ155mm
重量	全体：4.4kg（アイロン：1.5kg）
材質	アイロン／PE　アイロンかけ面／アルミニウム　グリップ／コルク ボイラー／ステンレス　ボイラーケース／PP
ボイラー容量	最大1ℓ
電源コードの長さ	2m
付属品	じょうご

操作手順 スチームアイロン

1 ボイラーキャップを開ける。

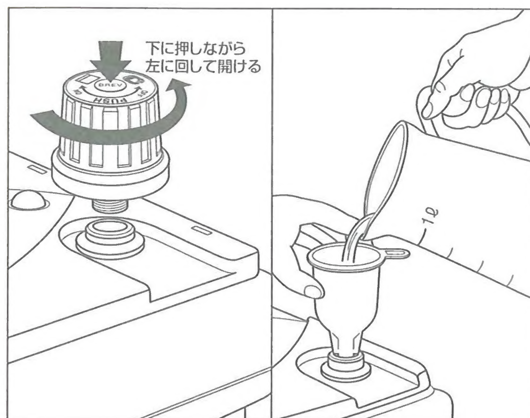
2 ボイラーに注水する。

プラグがコンセントに接続されていないことを確認します。じょうごを使って、ボイラーに水を入れます。

注ぎ口から水があふれる場合があるので、

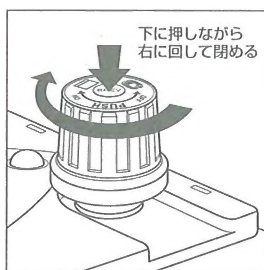
・注水の際は必ずじょうごを使い、少量ずつ水を注ぎいれてください。

・水量は1ℓを超えないでください。



3 ボイラーキャップを閉める。

ボイラーキャップを下に押しながら確実に閉めてください。キャップの閉まりが緩いと、注水口から沸騰した湯が噴出する恐れがあります。



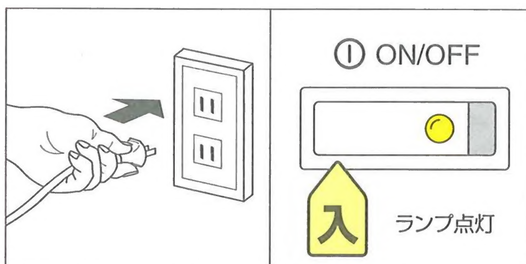
4 プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。

スイッチを入れます。スイッチのパイロットランプおよびスチームランプが点灯します。



注意

はじめて製品を使う場合、若干煙が出たり臭いがすることがあります。数分でおさまりますので、その際はお部屋を換気してください。



5 アイロン温度を設定する。

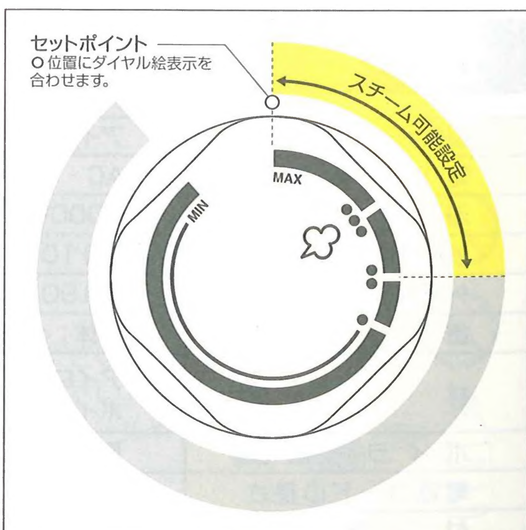
アイロン温度調節ダイヤルで、素材にあわせてアイロン温度を設定します。

ダイヤル絵表示	素材	スチーム使用可	アイロン温度
●	アセテート・アクリル・ナイロン ポリエステル・レーヨン他化学繊維	不可	低温 約120～135℃
●●	絹	不可	中温 約140～155℃
	毛・綿・麻	可能	
●●●	綿・麻・のりづけした衣類	可能	高温 約160～175℃
MAX	綿・麻・のりづけした衣類	可能	最高温 約190～205℃



注意

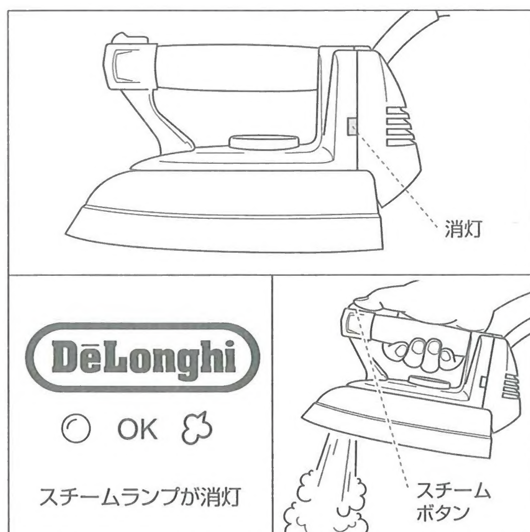
2種類以上の混紡の場合は、アイロン温度の低い素材に温度設定を合わせてください。



6 スチームを出す。

①アイロンのサーモランプが消灯します（約7～10分後）。

②スチームランプが消灯します（水量1ℓの場合約18～20分後）。
これでスチームが使用可能です。
③スチームボタンを押してスチームを出します。
※約1時間の連続スチームが可能です。



・スチームランプが最初に消灯した直後は、スチームが十分に出ないことがあります。
その場合は、スチームの使用を止め、再びスチームランプが消灯するのを待ってから再びスチームボタンを押して使用してください。
・スチームランプはアイロン使用中点いたり消えたりします。
・スチームはアイロン温度中温以上で使用可能です。低温では水がボタボタと落ちてしまいます。
必ず中温以上でご使用ください。


高温注意

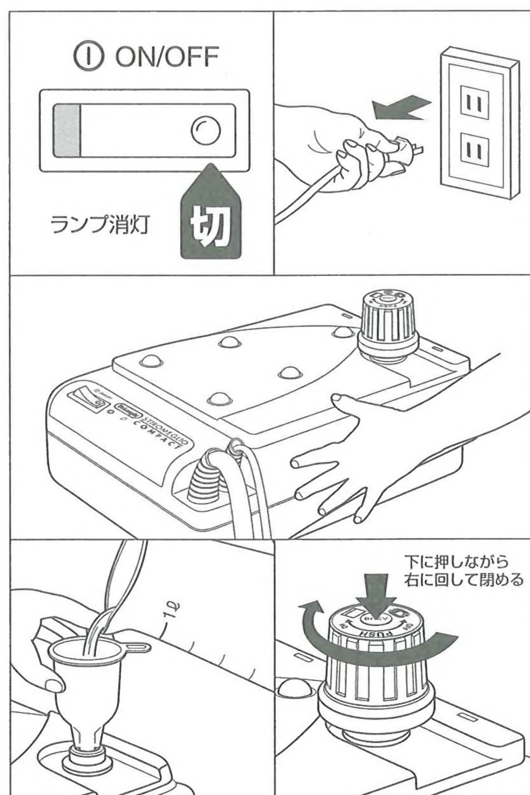
アイロン本体はかなり高温になりますので、ヤケドには十分ご注意ください。
温度調節ダイヤルは熱くなっていますので取り扱いには十分ご注意ください。

7 再注水する。

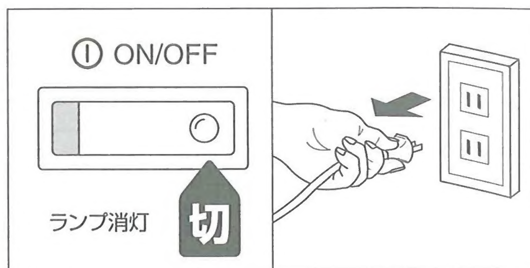
ボイラー内の水がなくなると、スチームが出なくなります。次の要領で水を注ぎ足してください。
①スイッチを切り、プラグをコンセントから抜きます。

②数分間ボイラーが冷えるのを待ちます。

③ボイラーキャップを開け、じょうごを使って水を入れ、ボイラーキャップを閉めます（5頁❷参照）。

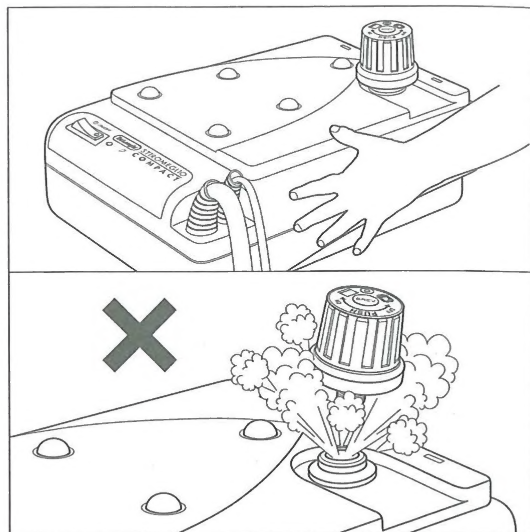


8 使用後は各スイッチを切り、プラグをコンセントから抜く。



9 ボイラーを冷ます。

水がボイラーに残っている場合、ボイラー内に圧力が残ります。使用後１時間以上ボイラーを冷まし、ボイラー内の圧力をなくします。



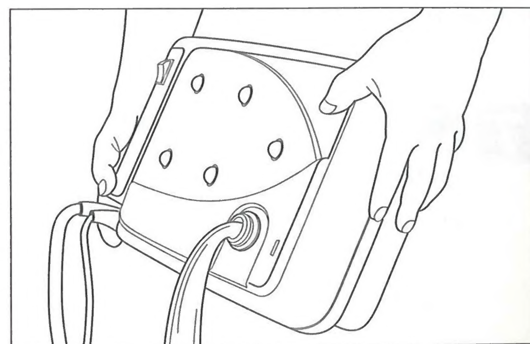
危険です!!



セーフティーボイラーキャップとなっており、圧力が残っている間はボイラーキャップが開かないように設計されています。無理に開けようとすることは絶対にお止めください。

ボイラー内の水を捨てる。

ボイラー内の水は使用後毎回捨てる必要はありませんが、本製品（スチーム）を１週間以上使用しないときは、ボイラー内の水を捨ててください。



垂直スチーム

本製品は、アイロンを立てた状態で十分なスチームを噴射することができます。ジャケット、コートやスカートはハンガーに掛けたままでシワとりができるため、型くずれの心配もありません。タバコの臭いや静電気を取るのにも便利です。



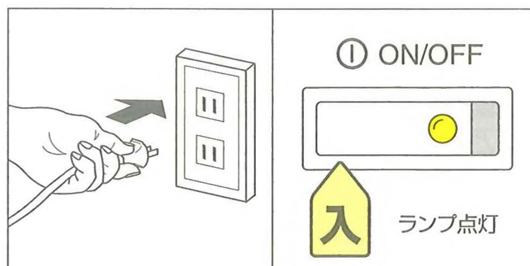
操作手順 ドライアイロン

1 プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。

スイッチを入れます。パイロットランプが点灯します。



はじめて製品を使う場合、少し臭いがすることがあります。



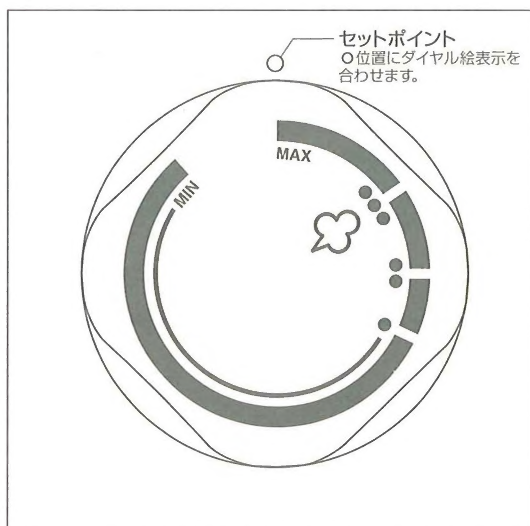
2 アイロン温度を設定する。

アイロン温度調節ダイヤルで、素材にあわせてアイロン温度を設定します。

ダイヤル絵表示	素材	アイロン温度
●	アセテート・アクリル・ナイロン ポリエステル・レーヨン他化学繊維	低温 約120～135℃
●●	絹・毛・綿・麻	中温 約140～155℃
●●●	綿・麻・のりづけした衣類	高温 約160～175℃
MAX	綿・麻・のりづけした衣類	最高温 約190～205℃



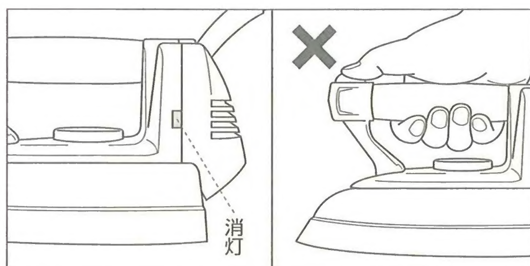
２種類以上の混紡の場合は、アイロン温度の低い素材に温度設定を合わせてください。



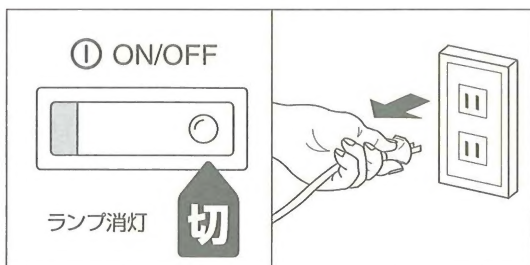
3 アイロンサーモランプ消灯後、アイロンをかける。



ドライアイロン時には、スチームボタンは使用しないでください。



4 使用後はスイッチを切り、プラグをコンセントから抜く。



上手なアイロンがけのポイント

複数の衣服に アイロンをかける場合		必ずアイロン温度が低い素材からアイロンをかけてください。アイロン温度が高い素材からかけると、アイロンの温度が下がるのに時間がかかります。
毛、綿、 麻	濃い色のもの	てかりを抑えるために素材の裏側からスチームをあててアイロンをかけてください。折り目をつける等表側からアイロンをかける必要がある場合は、必ずあて布をしてください。
	白や薄い色のもの	表側からスチームをあててアイロンがけをすることが可能ですが、必要に応じてあて布をしてください。
麻		特にたっぷりとスチームをあててください。
ビロード、毛		必ず離れたところからスチームをあててください。
絹		スチームを使わず、中温で裏側からアイロンをかけてください。
混紡		低い方の繊維温度にあわせてアイロンをかけてください。
ファスナー、フック、 ボタン等の硬い部分		アイロンかけ面を傷つけますので、アイロンをかけないでください。
刺繍のある素材		きれいに仕上げるために、素材の裏側からアイロンをかけてください。
襟、袖口、折り返し部分		きれいに仕上げるために、裏→表の順で、両面からアイロンをかけてください。
カーペットやじゅうたん上の 家具などの跡		毛足が平らな状態になっている部分にスチームをあて、かるくブラシをかけて毛を起こすことにより目立たなくすることができます。

お手入れ

必ず、「安全上の注意：お手入れについて」（3頁参照）をお読みください。

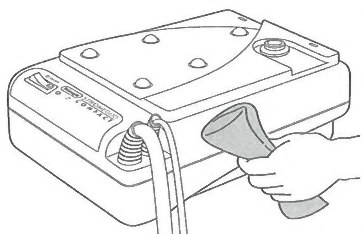
アイロン

冷えてから、かけ面を固く絞った濡れ布巾で拭いてください。石灰質除去剤は絶対に使用しないでください。水洗いはできません。



ボイラー

水洗いはできません。必要に応じて表面を固く絞った濡れ布巾で拭いてください。

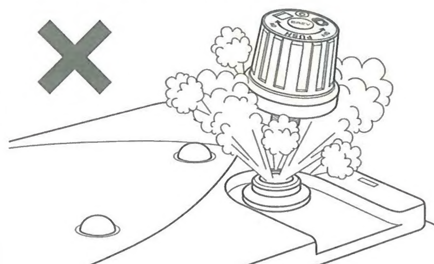


※本製品を1週間以上使用しない時は、
ボイラー内の水を捨ててください。

⚠注意

危険です!!

ボイラー内に圧力が残ったままでボイラーキャップを開けると熱い蒸気が噴き出し、大変危険です。必ず、使用後1時間以上経って、ボイラーが冷め、ボイラー内の圧力がなくなってからボイラーキャップを開けてください。



故障かな？

次のような場合は故障ではありません。修理を依頼される前に、もう一度お調べください。

状 態	予想される原因および対処の仕方
スチームアイロン使用中に、サーモランプおよびスチームランプが点いたり消えたりする	使用中は、アイロン温度およびボイラー内圧力を維持するために、サーモランプおよびスチームランプが点いたり消えたりします。これは異常ではありません。
スチームアイロン使用中に、スチームケーブルが熱くなる	スチームケーブルは、ボイラーからアイロンに移動する蒸気の通り道です。スチーム使用中は、ボイラーからの熱い蒸気がスチームケーブル内に流れますので、スチームケーブルが熱くなります。これは異常ではありません。
スチームが出ない	次のことを確認してください。 ・ボイラーに十分な量の水が入っていること ・スイッチが入っていること ・スチームランプが消灯していること ・アイロン温度が ●●（中温）以上に設定されていること
スチーム使用中、水がボタボタと落ちる	アイロン温度が ●（低温）以下になっていませんか？ 必ず ●●（中温）以上に設定してください。

アフターサービス

1）使用中に異常が生じたときは、直ちに全てのスイッチを切り、プラグをコンセントから抜いてください。その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター（下記参照）にご相談ください。

2）万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に**1.お求め時期　2.製品名称と型式番号　3.故障の状況**――を連絡のうえ、修理を依頼してください。なお、宅配便等を利用して弊社サービスセンターに直送される際は、必ず故障の状況を記したメモを商品パッケージ（梱包箱）に同封してください。

3）保証期間中（1年）は、保証書に記載されているものについては、無償で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有償で修理いたします。

4）**真心点検のお勧め**：保証期間が過ぎて気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（持込み）をお勧めします。点検の依頼方法、料金等につきましては、弊社サービスセンター（下記）までお問い合わせください。



※下の枠内に、購入年月日を記入してください。点検の目安になります。

購入年月日:　　　　年　　　　月　　　　日

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンター（下記）までお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター

（受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9:30～18:00まで）

● 横浜：〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫（株）内4号ビル

Tel.0120-804-280／Fax.045-450-3291

● 大阪：〒564-0044 大阪府吹田市南金田2-21-25

Tel.0120-692-880／Fax.06-6368-2881



デロンギ・ジャパン株式会社

本　　社：〒101-0044　東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル　Tel. 03-5256-6321（代）
大阪支社：〒541-0051　大阪市中央区備後町3-3-15 ニュー備後町ビル　Tel. 06-6263-6116（代）



環境にやさしい無塩素漂白エコパルプ（ECF）とソイインクを使用しています。